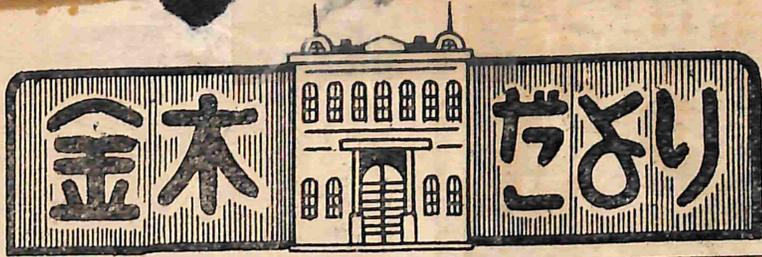


梅雨の月です  
赤痢と食中毒に注意  
うつろい梅雨(つゆ)  
が間もなくやってきます。  
こわいのは、赤痢と食中毒  
です。次のことに注意しま  
しょう。

○食事前後は手を洗いまし  
めよう。  
○たんから菜をとり、  
分、寝冷えに注意。  
○食べ物は新しいうちに。  
○冷蔵庫を過信しないこと。  
○おかしいと思ったらお医  
者さんへ。

発行所 青森県  
金木町役場  
編集 企画 画 室  
印刷 津島印刷所



第74号  
天気長期予報  
六月から八月はじめにか  
けて気温の変動が大きく、  
七月は平年よりやや低くな  
りそうである。しかし、八月  
後半になると気温は平年よ  
り高くなる見込みです。  
つゆ型の気圧配置は長統  
ぎしない見込みなので、雨  
が降り続くというよりは、  
まとまって降る傾向があり  
ます。また、雨量は概して  
少目の傾向にあります。一  
時的な大雨で平年並かやや  
多くなるところがあるかも  
知れません。

# 順調な育雛センター

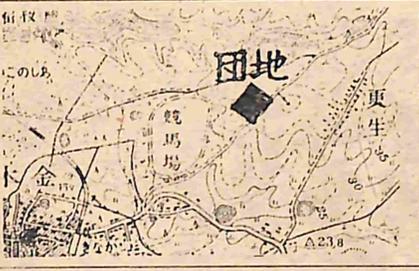
## 事業主体は金木農協

### 部分協業で団地造成はかる

この事業は、新しい村づくり事業で、西北養鶏農協(組合長白川兵蔵)が三十七年度に種鶏を主体とした養鶏センターを設置した頃、国で打ち出した畜産生産地形成事業および農業構造改善事業に刺激されて、町当局が十五万羽養鶏の計画をたてたことがきっかけとなったもので、①資金の回りが早い、②毎日現金が入ってくる、③所得倍増の近道である、④部分協業から全面協業への移行の足がかりとなる、⑤專業養鶏農家の育成をはかるなどが主な目的となっています。

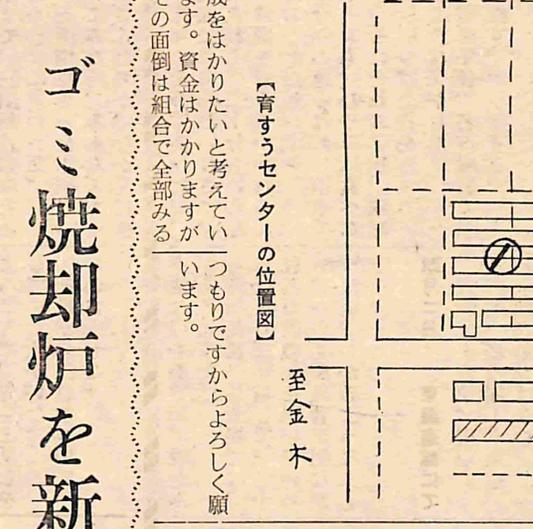


【写真】育すうセンターの中ひな舎



【養鶏団地造成計画図】

この事業は、新しい村づくり事業で、西北養鶏農協(組合長白川兵蔵)が三十七年度に種鶏を主体とした養鶏センターを設置した頃、国で打ち出した畜産生産地形成事業および農業構造改善事業に刺激されて、町当局が十五万羽養鶏の計画をたてたことがきっかけとなったもので、①資金の回りが早い、②毎日現金が入ってくる、③所得倍増の近道である、④部分協業から全面協業への移行の足がかりとなる、⑤專業養鶏農家の育成をはかるなどが主な目的となっています。

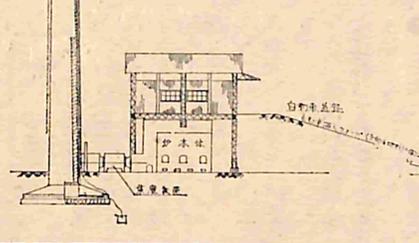


【育すうセンターの位置図】

## ゴミ焼却炉を新設

### 約四百万円で九月末完成予定

当町では、ゴミの焼却場がないので、川や公有地にき取り先もきまっています。このため、ゴミの焼却場を新設することになり、今年度の当初予算に計上、敷地がまわりの完成することになり、町の皆さんから期待をかけられています。



【トッパン：ゴミ焼却炉の建設】

## 水利団体で申請人会

### 小田川 土改事業の実現期す

五所川原、金木、中里の三市二町にまたがる小田川地区土地改良事業の国営分である小田川ダムおよび幹線水路などの実施設計については、本年度から二ヶ年にわたってまとめることになり、関係市町村では、去る五月五日午前十時より金木町役場会議室で申請人

## 6月の解説

この月にはいろいろな行事があります。電波の日、気象記念日、虫歯予防デー、計量の日、時の記念日

### 主な行事

- (月) 電波の日、気象記念日、写真の日、計量週間(7日まで)
- 全国安全週間準備月間(6月中)
- 農業危害防止運動(6月中旬まで)
- (木) 歯の衛生週間(10日まで)
- (土) 芒種(ぼうしゅ)
- (日) 計量記念日
- (水) 時の記念日
- (木) 入梅
- (日) 父の日、夏の健康を守る運動(7月20日まで)
- (月) 夏至(げし=昼が一番長く夜が一番短い日)
- (火) 救らいの日、全国小、中学校学力調査の日(小学校は23日だけ、中学校は23日と24日の両日)

## 人口動態

(昭和39年5月31日現在)  
推計人口月報による

男女計	8,901人	8,947人	17,804人	
区 分	金 木	嘉 瀬	喜良市	計
人 口	9,048	4,763	3,993	17,804
世 帯	1,580	824	601	3,005
異 出 生	18	6	6	30
異 死 亡	3	1	1	5
動 入 入	62	8	7	77
動 出 出	28	6	6	40
婚 姻	21	8	5	34
離 婚	2	0	1	3

## 農薬 十戒

軽卒な農薬を混用すべからず  
防除のさいはマスクや手袋をはすべからず  
一人で長時間の連続作業をすべからず  
よこれた衣服や器具は放っておくべからず  
使用済み容器の始末、残った薬の保管はゆるがせにすべからず

- 無登録の農薬をつかうべからず
- ラベルや説明書の記載事項を読み落とすべからず
- 特定物をまいたときは、公示を怠るべからず
- 収穫前の使用禁止間を破るべからず
- 指定農薬などは、乱用すべからず

みんなのひろば

金木小学校 六年二組 菊地真幸

この欄は、皆さんの広場です。どなたでもご利用ください。必要場合は「町民の声」の欄をご利用願います。

# 美しかった函館

## 旅館のメシは家よりまづい

五月五日、ほくたち六年生は、函館へ修学旅行に行きました。

青森まで汽車に乗っていきましました。

青森から函館までは、大雪丸という約重さ千八百トもある船に乗って函館に行きました。函館駅には、バスがまわって、すぐ沿公園に行きました。

大沼公園には、大沼と小沼とが、あります。あたりには、ボートに乗った人がたくさん、いました。

帰りは、岬やクイズをし、日の出旅館までいきましました。

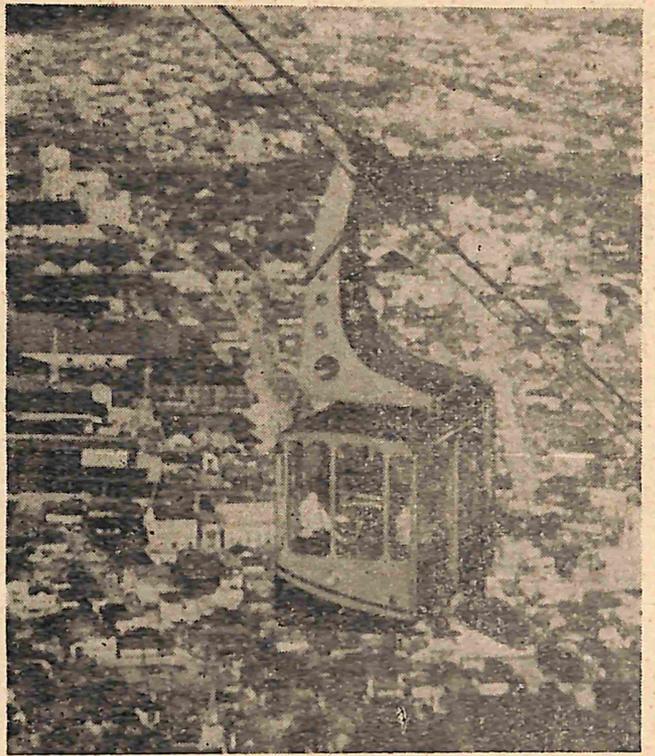
日の出旅館の食事は、大きなお盆に少しか、はいっていません。ごはんは、せいかいにして、ビスケット、カルミン、キャラメルなどを、つくっているところを見ました。

昼はデザートで、食事した。たばたと、飛行場を見学に行った。飛行機は、思ったより大きくすごかった。

帰りはデザートに、いって妹のおみやげとほくのものを買った。

帰りは、でん車にのってグランドホテルにいきましました。よその学校の人がたくさんきていました。

夕方上野に着く。



【写真】函館山のロープウェイ

食事は、日の出旅館と似たものばかりで、家のよりおいしくなかった。

あしたは、家へ帰るのでつぎの日、船に乗って青森へむかした。青森について、夕方上野に着く。



【写真】某製鋼工場風景

三月二十六日 金木から大阪へ

埼玉県への就職者を川部駅で引き渡したが、例年に見られた涙のお別れがなかった。

今年には会社別による引卒が多かった。私の同行者はたった二人だけの男子。一人は全くの無表情。岩木山を見るのもしばらくのお別れだから、と言ったが、ちらと見ただけ。もう一人は、学校においても相当のつわものであったが、ほんとうになごり惜しそうであった。

はたして、この二人は就職後、どんな育ち方をしているのだろうかと思像して見たが、就職生全員の代表のような気がして、そう簡単に割り切れない。

三月二十八日 大阪から上野へ

わずか一時間で東京に向わなければならぬ大阪駅であったが、前日からの疲れと、目まぐるしい人波で気が遠くなる。

東海道線を立ちつばなし車むかえる。

三月二十九日 上野駅にて

朝六時起床、上野第一陣をむかえに西口へ。

在東京人会の人たちも旗をもってむかえに来ていた。まもなく第二陣到着。列車がガラ空きのせい、つかれも見せず下車。でも荷物をもつのは、気が毒だった。

荷物の出発しても、餞別の荷物、荷物のふくれてしまふのだ。案じ過ぎて子供たちに負担を多くさせている。

午後、四ヶ所の会社訪問でクタクタ。宿に帰り、先生たち(同じ郡の連中は大体同じ宿をとっている)と子供たちのことを話し合う。

三月三十日 愛知県へ

西口近所のホームで一列車むかえる。

# もっとほしい日数 負担となる餞別の荷物

四月一日 岡崎にて

昨年は工場を見せてもらえなかったが、今年はアツサリ見せてくれた。

近代工場の代表的な工場だけに、行きとどいてい。でも大工場は大工場なりに、冷たい気もした。大工場には就職希望も多いが、小工場には、小工場なりの

最後の名古屋——東京間、急行の一等。少しもつかれがとれると思つたが、大間違ひであった。かえって、混んでい。車中にて具合が悪くなり、熱海駅にて下車。しばし息をつく。

東京行、各駅停車の一等に乗る。これが、うそみたにカラカラなのだ。殿様気分です座っている内にウツ手に乗らなくなったが、

四月二日 東海道線にて

大阪——東京、東京——名古屋、名古屋——東京、と全部立ちつばなし。

不便な点もあるが、暖かみがあるようだ。

西加茂郡の某工場では、当校より三年越しで、二十数名の就職生を出しているが、一名も離職者が出なかったが、わかるような気がする。

同日午後、名古屋駅で引き渡す。ホットする。

四月三日 都内にて

都内に入ると一日に、七社ぐらゐ回らねばならぬ。今日一日と、明日の半日で大体十社位の見当をつける。

東京には、山手線があるから本当に便利だ。

中には気のきいた会社があつて、こちらの不案内を知つて、自家用車で次の会社まで送ってくれるところもある。助かる。電車に乗つてマゴマゴして三十分もかかるのを、五分位で行けるのだからありがたい。

はじめての時だったが、会社から、次の会社までタクシーで行つたら六百円もとられた。こちらの顔をみまかして、ググル回されたと思ふ。今は馴れたので、その手には乗らなくなったが、

# 六月の農作業

六月は田植えを終り、苗代跡を整理し、本田の補植、除草剤の撤布、畦畔や水口の整理などの田植えの後仕事と、これからの管理の段取りの仕事が残つています。

今月は次のことから注意して仕事を進めましょう。

● 稲作りの省力は除草剤で……使用は確実に

田植え後七日位たって苗が根付いたら、P・CP・粒剤(二五%)か復合除草剤(パムコン)を撒き、マノック粒剤を撒き、機で一〇アール当り三きまく。その他の除草剤についても薬剤の特性を把握して使い分け、使用後、雑草が発生したら機械除草を行なう。それから注意をきいて、かさいさんした。

● 表層追肥

分けつ最盛期の追肥は茎数が増加し、いかに生育がよくならないと増収するのを見えますが、倒伏しやすく、実がい悪くなつたりするので、考えて見ると恐ろしい気もした。

● 各社には行けないから、というのを子供たちに話してあるので、訪問された子供たちは、一様にびびりして、回れないところには、気の毒だが八月には必ず戻って行くからと約束してあるので、がまんして、くれることだ。

● 四月四日 北斗車中にて

うまい具合に(女中さんへのチップの力は大きい)北斗のキップが手に入ったので、例年のようにホームに、四時間、五時間と並ばなくてすんだ。

● 本日は、あと二日程在東京にいて、全部回れたのにと、もう一社も残念でないので、同宿した先生が、無理して六日まで滞在すること。何か、打たれるものがあった。

● 車中で、さまざまの事を反省してみた。思いがけなく立派であった子供。涙を浮かべて別れた子供。でもきつとみんな立派にやってくれよう。

(文と写真：真中浅木全一)

● 六月末日にMGPB又はMCFを使用する。

● 苗代跡の整理

畑苗代跡の整理は、充分に施して、跡作を実施する。保温折衷苗代跡には極力田植えをしましょう。

● 畦畔や水口、水尻口の整備

田植え後の稲の生育は、水管理にかかっているといつても過言でない。畦畔の

● 増収効果は余り大きくありません。七月に低温が予想されますので特に気を付けましょう。

● 深層追肥を計画している水田は、初め生育が悪いが、計画を良く守つて適当に追肥を行なつて下さい。

● りんご

● 実グサレ、株グサレの処理

実グサレ、株グサレは摘みとって三〇種以上の深さに埋めましょう。

● 摘果

落花七日目から一つ成り摘果を始め、落花後二十五日目頃までに仕上げの摘果を終る。摘果の強さは、紅玉、国光は三頂芽に一果、デリシヤス、ゴールデンデリンデは四〜五頂芽一果が標準です。

● ビート

本葉二枚のとき間引ホーを使って間引を行ない、本葉四枚になったらとき(間引後七日頃以後)に間引を行なつて一本立にします。間引が終わったら早めに追肥をやりましょう。

● 全国一斉の学力調査

6月23日~24日

この日の学力調査は、六月二十三日に小学校五年、六年生の国語と算数、同じく二十三日と二十四日に中学校二、三年生の国語、数学、社会、理科、英語で本県では全校参加のもとに全国一斉に行なわれます。

● あなたのお子さんの学力向上に、貴重な資料を提供してくれる全国学力調査です。ことしも立派に実施しましょう。

(県教委)

● 全国一斉の学力調査

本県の子どもの学力を、全国的なレベルに比べて、かなり低くとか、いやそんなことはない、口で言いつつ争つてもしょうがありません。

● 全国一斉の学力調査

全国の子どもたちの学力を、全国的なレベルに比べて、かなり低くとか、いやそんなことはない、口で言いつつ争つてもしょうがありません。

● 全国一斉の学力調査

全国の子どもたちの学力を、全国的なレベルに比べて、かなり低くとか、いやそんなことはない、口で言いつつ争つてもしょうがありません。